

優良業者等表彰(局長表彰)

- 優良施工工事部門
- 安全施工工事部門
- 優良業務部門
- 優秀工事技術者部門
- 優秀業務技術者部門

平成27年 7月

沖縄総合事務局開発建設部

優良業者等表彰一覧

◆優良施工工事部門

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成25年度恩納南BP3号橋下部工(下りKP6・KP7)工事	先嶋建設(株)	北 部 国 道	P 2
● 平成25年度南風原高架橋耐震補強工事	南洋土建(株)	南 部 国 道	P 3
● 平成25年度宮城高架橋外塗装工事	國幸興發(株)	南 部 国 道	P 4
● 那覇空港滑走路増設仮設棧橋1築造外1件工事	あおみ建設・大本組・南海建設特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 5
● 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)空寿崎陸側橋梁上部工工事	五洋建設(株)・(株)富士ピー・エス特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 6
● 竹富南航路浚渫工事(第4次)	丸尾建設(株)	石 垣 港 湾	P 7

◆安全施工工事部門

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成24年度恩納南BP4号橋下部工(下り)工事	金秀建設(株)	北 部 国 道	P 9
● 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)西洲陸側橋梁上部工工事	三井住友建設(株)九州支店	那覇港湾・空港	P10

◆優良業務部門

業 務 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成26年度北部国道調査設計業務	(株)ホープ設計	北 部 国 道	P12
● 平成26年度那覇北道路橋梁予備設計(その3)業務	大日本コンサルタント(株)	南 部 国 道	P13
● 平成25年度南部国道管理・交通対策関係工事監督支援業務	(株)アークスタッフ	南 部 国 道	P14
● 平成26年度 国営沖縄記念公園施設点検他業務	(株)長大 沖縄支店	記 念 公 園	P15
● 石垣港航跡波影響検討業務	(株)エコー 沖縄事務所	石 垣 港 湾	P16

◆優秀工事技術者部門

工 事 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成24年度港川高架橋下部工(下りP10)工事	(株)大本組 川田建設・銭高組特定 建設工事共同企業体	松 本 竜 哉	南 部 国 道	P18
● 平成25年度与根高架橋上部工(下りP15～P18)工事		森 脇 健 次	南 部 国 道	P18
● 中城湾港(新港地区)岸壁(－10. 0m)改良工事	(株)國場組 あおみ建設・座波建設 特定工事共同企業体	嘉 数 和 彦	那覇港湾・空港	P19
● 中城湾港土砂処分場え護岸外1件築造工事		金 田 裕 治	那覇港湾・空港	P19

◆優秀業務技術者部門

業 務 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成26年度南部国道交通対策事業促進等検討業務	(株)長大 沖縄支店 日本工営(株) 沖縄事務所 (株)イーエーシー	石 原 智 司	南 部 国 道	P21
● 平成26年度南部国道管内電気通信施設外設計業務		齋 藤 正 義	南 部 国 道	P21
● 中城湾港環境監視調査業務(その2)		木 村 英 彰	那覇港湾・空港	P22

優良施工工事一覧

優良施工工事の選考基準

1. 施工計画、品質、出来形管理等の施工技術が優秀で出来ばえも良く、他の模範となるもの
2. 工事施工上の困難性(短期間の工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服し、工事の遂行に努力し、かつ、出来ばえの良好なもの
3. 新しい施工技術を導入し、今後の施工技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、出来ばえも良好なもの

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成25年度恩納南BP3号橋下部工(下りKP6・KP7)工事	先嶋建設(株)	北 部 国 道	P 2
● 平成25年度南風原高架橋耐震補強工事	南洋土建(株)	南 部 国 道	P 3
● 平成25年度宮城高架橋外塗装工事	國幸興發(株)	南 部 国 道	P 4
● 那覇空港滑走路増設仮設棧橋1築造外1件工事	あおみ建設・大本組・南海建設特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 5
● 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)空寿崎陸側橋梁上部工工事	五洋建設(株)・(株)富士ピー・エス特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 6
● 竹富南航路浚渫工事(第4次)	丸尾建設(株)	石 垣 港 湾	P 7

優良施工工事

件名 平成25年度恩納南 BP3号橋下部工(下り KP6・KP7)工事

会社名 先嶋建設(株)



工事説明

本工事は、恩納南バイパス事業の一環として、恩納南3号橋における橋脚2基の工事です。橋脚の施工は、共用中の既設上り線橋梁と近接し、且つ20mの足場上での高所作業となるため転落・飛来落下災害の防止及びクレーン作業時の安全確保の課題があった。

工事の施工において主に、場所打ち杭の偏心量管理、フーチングの過密配筋に対応する鉄筋の干渉防止対策、橋脚躯体工では、支承アンカーボルト孔及び沓座の施工方法について独自の技術を取り入れた施工を行った。

安全管理においては、危険ポイントの見える化、安全教育訓練における小テストの実施などで、現場状況に対応した安全活動を推進した。

橋脚躯体のコンクリートの打設・養生方法に特に気を配り、品質、出来形ともに規格値の50%を満足し、出来栄も良好であった。安全対策及び足場組立・解体等の施工計画の周知徹底等を図り、工期内に無事故無災害で完成させた。



工事概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 工事場所／一般国道58号恩納村富着地内
- 工事内容／道路土工 一式
- RC 橋脚工 一式
- 排水構造物工 一式
- 仮設工 一式
- 工期／H26.3.21～H27.1.30
- 契約金額／¥122,310,000

優良施工工事

件名 平成 25 年度南風原高架橋耐震補強工事

会社名 南洋土建(株)



落橋防止工(RC 突起)



落橋防止工(制震ダンパー、PC ケーブル)



落橋防止工(縦型ピン)



伸縮継手改良工



橋脚コンクリート巻立て工

工事説明

本工事は、国道 506 号(那覇空港自動車道)の南風原高架橋、池田高架橋において、地震災害発生時の緊急避難路の確保や橋梁の倒壊や落橋による二次災害防止を目的とし、安全で円滑な交通を確保するために耐震補強を行うものである。

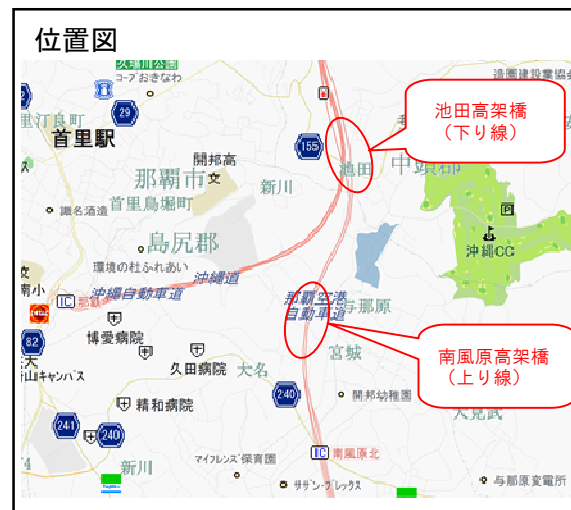
現場は、池田高架橋(下り線)と南風原高架橋(上り線)の2箇所を施工しました。

池田高架橋は急傾斜地にあるため、工事用道路が確保できず、足場材、鋼材、コンクリート等の資材の搬入方法が課題でした。

工事用道路がない箇所は、国道 506 号(那覇空港自動車道)を規制し、クレーンを使用する方法で計画し、監督職員および NEXCO 西日本と交通機動隊と事前に調整することで工程に影響することなく安全に施工することができました。

南風原高架橋は伸縮継手改良工で、国道 506 号(那覇空港自動車道)の走行車線及び追越車線を交互に毎日規制して、既設の撤去から新設を設置する作業で、1日の作業時間が限られている厳しい条件の中、始業時と作業終了時に資機材の確認、点検、作業手順の打合せを行い、早期解放を目標に確実な施工を実施しました。

現場職員及び作業員全員で、常に安全を意識して施工に取り込むことにより、無事故・無災害で竣工することができました。



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／沖縄県島尻郡南風原町宮城
及び沖縄県中頭郡西原町池田地内
- 工事内容／工場製作工 一式
橋梁付属物工 一式
橋脚巻立て工 一式
現場塗装工 一式
仮設工 一式
残土運搬工 一式
伸縮継手改良工 一式
- 工期／H25.10. 2～H27. 3.31
- 契約金額／¥154,742,400

優良施工工事

件名 平成25年度宮城高架橋外塗装工事

会社名 國幸興發(株)



工事説明

本工事は、国道506号(南風原道路)に架かる宮城高架橋、山川高架橋(2径間)における既存塗膜層の劣化や防食機能の低下が著しい鋼橋の塗替え塗装を行う工事である。

事前調査において、既存塗膜へ有害物質である「鉛」の含有が環境基準値以上確認されたことから作業環境の改善や作業従事者の安全確保を目的に、素地調整工法を電動工具を用いた“乾式工法”から剥離剤を使用する“湿式工法”へ変更を行った。剥離剤工法の検討や試験施工に伴い、日数を要した事で遅れを取り戻す工程管理が求められた。対応とし、施工箇所が宮城高架橋・山川高架橋と2橋離れた環境であったことから、塗装作業編成を2パーティーとし、同時期に並行作業を行う事で工程短縮を図った。

また、既存塗膜へ含有していた「鉛」については、鉛中毒予防規則に留意し、全作業員への化学防護服・保護メガネ・防塵マスク等を着用徹底し、作業休憩毎に取替を行い、作業場外へ飛散しないよう足場養生シート内で密閉式ドラム缶へ回収を行う事で近接商業施設や近隣住宅への安全確保に配慮した。

品質・出来形管理においては、社内規格値を設定し、当該工事関係者が目につきやすい作業員休憩所へ前日までの出来形管理図を掲示する事で膜厚管理の周知を行った。また塗膜の品質向上を図る為、素地調整後～下塗(第1層)までを4時間以内とし、橋梁毎に施工ブロックを分割施工する事で塗膜層の品質確保に努めた。

以上、工程毎に工夫を講じることで、段階ごとに確実となる施工を実施し、無事故・無災害にて工事完成をすることが出来ました。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／南風原町与那覇地内
・喜屋武地内
- 工事内容／現場塗装工 一式
鋼橋足場等設置工 一式
構造物撤去工 一式
- 工期／H26. 3.29～H27. 1.30
- 契約金額／¥122,472,000-

優良施工工事

件名 那覇空港滑走路増設仮設栈橋1築造外1件工事

会社名 あおみ建設・大本組・南海建設特定建設工事共同企業体



工事説明

本工事は、那覇空港滑走路増設事業における工事の資材搬入拠点になる仮設栈橋1の築造と海上地盤改良(GS-3-2 工区、S-1 工区)を行う工事である。

工事海域は、これまでに施工実績が無い外海に面したリーフ上の厳しい施工条件下であり、冬季波浪や頻繁に襲来する台風の影響を受けることから、波浪に対する備えが特に重要であった。そのため、海象条件と工事進捗状況を照らし合わせて、限られた施工可能日にいかに進捗を進めるか等、工程管理に努めた。

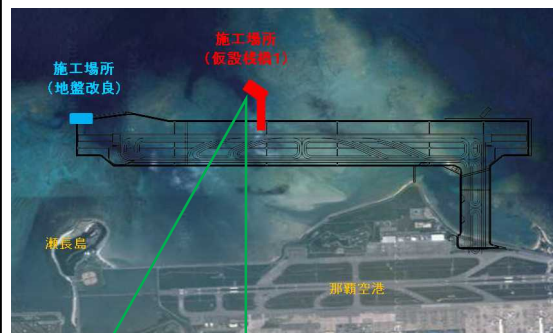
また、栈橋部の鋼管矢板打設と捨石護岸の捨石投入を平行作業で行えるよう、船舶の係留方法を工夫するとともに、係船柱のプレキャストブロック化や腹起し材の工場組立など、海上作業を軽減する工夫を行い工期短縮に努めた。

環境に関しては、汚濁防止対策や濁度測定を常に行いながら施工したことから、濁りによる苦情も無く施工できた。

また、各所の清掃活動へ積極的な参加や本事業に対する理解・情報発信を図る為、地元小学生を招いて工事見学会を実施するなど、地域貢献に努めた。

以上、様々な工夫を講じる事で、確実な施工を実施し、無事故無災害で工期内完成を達成した。

位置図



仮設栈橋1完成写真



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄県那覇市大嶺地先
- 工事内容／共通工 一式
- 本體工(鋼管矢板式)一式
- 舗装工 一式
- 付屬工 一式
- 本體工(捨石式) 一式
- 被覆・根固工 一式
- 海上地盤改良工 一式
- 工期／H26.1.18～H27.3.20
- 契約金額／¥1,955,534,803

優良施工工事

件名 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)空寿崎陸側橋梁上部工工事

会社名 五洋建設(株)・(株)富士ピー・エス特定建設工事共同企業体



●陸側上り線、起点側より 171m

●大型ワーゲン(移動作業車)



工事説明

本工事は、沖縄県の拠点港、那覇港から中北部方面への物流等の機能強化及び周辺道路の渋滞緩和を目的に整備されている。

工事は、浦添港川～西洲における臨港道路のうち空寿崎側に位置するPC11径間連続箱桁橋(橋長873m内171mを施工)最大支間長82mを張出架設工法で施工するものである。

当作業箇所は、海上栈橋上となるため作業スペースやヤードの確保が十分ではなかった。そのため、仮設栈橋を利用した張出しヤードや張出し安全通路設置等の工夫を行いながら作業を進めた。

大型ワーゲン(移動作業車)による施工で、コンクリート先端部の上越し量・変位量では、弾性たわみおよびクリープによるたわみの計算結果を基に、コンクリート打設前の型枠セット量を設定、上越し量を算出、計測しながら先端部の変位量を精度よく管理する事によって、大きな問題もなく、無事最終ブロックの閉合を行う事が出来た。

本工事周辺の海岸には、地元の方から「カーミー」と呼ばれ親しまれているサンゴ礁の岩場があり、釣り人や地元小学校の環境学習の場として広く利用されている。地元自治会と協力し昇降設備の設置、仮設トイレ・水道・緊急時に使用できるよう休憩所の解放など、安全連絡協議会を取りまとめ、30カ月の工期において無事故・無災害で工事を完了する事が出来た。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄県浦添市字港川崎原地先
- 工事内容／共通工 一式
- PC 片持箱桁橋工 一式
- 橋梁附属物工 一式
- 橋台工 一式
- 橋脚工 一式
- 舗装工 一式
- 仮設工 一式
- 工期／H24.2.23～H26.8.29
- 契約金額／¥683,709,000-

優良施工工事

件名 竹富南航路浚渫工事(第4次)

会社名 (株)丸尾建設



工事説明

本工事は、竹富南航路の計画水深を確保するため、浅所箇所をバックホウ＋台船方式で浚渫する工事である。

竹富南航路は、八重山諸島の主島である石垣島と周辺離島との間のサンゴ礁海域(石西礁湖)に位置し、周辺離島の生活物資輸送の生命線となっている航路であり、多くの船舶が航行している。

本工事の施工箇所周辺は、多くの航行船舶に対する安全対策が求められるとともに、漁業活動や観光利用が盛んに行われていることから、浚渫工事に伴う濁り対策に十分留意する必要がある。

このため、航行船舶への情報周知や警戒を適切に実施するとともに、汚濁防止枠及び汚濁防止膜の改良を行うことで、施工中に発生する汚濁水の越流や海底面との境界部からの濁り拡散防止対策を行い、環境保全に努めた。

また、施工期間中は石垣島地方への台風接近に伴い作業中断が頻繁に発生したが、適正な工程管理に加え、施工機械の改良や施工方法の工夫による作業効率の向上も積極的に行った。

さらに、今後の事業予定箇所における作業船団の適応性を把握するため、従来より水深が深くかつ斜面となる箇所での浚渫施工を試験的に行い、施工能力等の確認も含め、良好な成果を得ることが出来た。

以上、適正な施工管理、工程管理により、周辺環境に影響を与えることなく、無事故・無災害で工期内に竣工することが出来た。

位置図



工事概要

- 事務所名／石垣港湾事務所
- 工事場所／竹富南航路
- 工事内容／共通工 一式
潜水探査工 一式
浚渫工 一式
土捨工 一式
- 工期／H26.3.20～H26.10.31
- 契約金額／¥99,252,000

安全施工工事一覧

安全施工工事の選考基準

1. 工事の実施にあたり、施工の安全確保に特段の配慮がなされ、かつ工事の成績が優秀であったもの
2. 困難立地条件のなかで、安全確保を図るために積極的に創意工夫がなされ、安全施工に顕著な成績を上げたもの
3. 安全施工に関して顕著な成果を上げ、他の請負業者の模範として、推奨すべき成果をあげたもの

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成24年度恩納南BP4号橋下部工(下り)工事	金秀建設(株)	北 部 国 道	P 9
● 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)西洲陸側橋梁上部工工事	三井住友建設(株)九州支店	那覇港湾・空港	P10

安全施工工事

件名 平成24年度恩納南 BP4号橋下部工(下り)工事

会社名 金秀建設(株)



工事説明

本工事は、恩納南バイパス事業の一環として橋梁下部工(下り)5基の施工を行うものです。施工箇所は、急峻な地形のうえ近接する橋梁への重機の接触防止や通行車両への安全配慮が重要な箇所です。

また、下流沿岸は、養殖場や観光地があり環境対策が必要、同時に工事現場の出入り口が近隣小中学校の通学路となっており、交通災害対策と粉塵、騒音対策に留意する必要があった。

現場の安全管理の取り組みは、供用する高架橋の第三者災害や現場出入口の児童の安全対策等の災害を防止として「三方よしの公共事業」(住民よし、行政よし、企業よし)に取り組んだ。

- ① 地域住民への現場だよりを配布、工事の特殊性、安全・環境の取り組みを説明し地域の理解を得て施工を行った。
- ② 地元小学校6年生を対象に現場見学会を実施、重機の搭乗、測量実習、濁水の流出防止など、現場の作業員と交流を図り、作業員の安全意欲向上、積極的な取組に繋がった。

深礎杭の掘削時カメラ付クラムシェルを使用し坑内確認で操作ミスや事故の発生も無く安全に作業を行った。

また、施工時の盛土足場は、安全勾配確保が厳しく、大型土のうとブルーシート設置により、重機足場の安全性の確保と降雨時の赤土等流出防止対策を行った。

安全教育では、施工方法の説明をCIMを活用施工段階に応じた解りやすい説明

を行った。安全管理、施工管理、工程管理を適切に行った結果、無事故、無災害で工事を完成させた。

位置



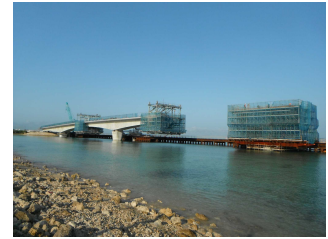
工事概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 工事場所／一般国道58号恩納村仲泊地内
- 工事内容／道路土工 一式
- RC 橋脚工 一式
- 排水構造物工 一式
- 仮設工 一式
- 磁気探査工 一式
- 工期／H25.3.27～H26.6.30
- 契約金額／¥357,834,000

安全施工工事

件名 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)西洲陸側橋梁上部工工事

会社名 三井住友建設(株)九州支店



工事説明

本工事は、沖縄県の拠点港、那覇港から中北部方面への物流機能を強化し、圏域の経済及び産業活動を支援し、国道 58 号等の周辺道路とのネットワークを形成することにより、沖縄県中南部地域の渋滞緩和に寄与する目的として計画された臨港道路(浦添線)2.5km の一環として建設されている橋梁工事です。

架橋位置は、米軍の補給基地(キャンプキンザー)の西部に沿って埋め立てられた浦添市西海岸開発地区の先端であり、付近は(イノー)と呼ばれる水深 2m 程度の浅瀬で、干潮時には沖縄県民が潮干狩りを楽しむ場所でもあります。

本橋の構造型式は、橋長 837.0m の PC11 径間連続箱桁橋であり、当社は P5～A2 の延長 502m の区間を担当しました。

本橋は、台風通過地域の海上橋であることから、耐風対策に留意する必要があり、架設機械の台風時補強対策、仮設備の耐風仕様の採用、飛散防止対策をふまえた整理整頓の徹底、強風時の作業中止の明確化等によりその対策に努めました。

高所作業となる地覆・壁高欄施工時の安全確保を目的として、張出し架設時にプレキャスト型枠を用いて壁高欄を同時施工する、無足場施工工法を採用しました。

また、隣接する工区の上部工・下部工業者との同時施工期間が長く、連絡・調整が重要になりましたが、西洲工区内の連絡調整を主導的にを行い、安全・効率的に工事を進めることが出来ました。

本工事は、関係各位および地域の方々のご協力のもと、平成 26 年 8 月に延べ労働時間 202,712 時間を達成し、無事故無災害で無事竣工を迎えました。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／浦添市西洲地先
- 工事内容／共通工 一式
- PC片持箱桁橋工 一式
- 橋梁附属物工 一式
- 橋台工 一式
- 橋脚工 一式
- 舗装工 一式
- 仮設工 一式
- 工期／H23.11.18～H26.8.29
- 契約金額／¥2,011,500,000

優良業務一覧

優良業務の選考基準

1. 設計計画の立案及び創意工夫等において技術力が優秀で出来ばえも良く、他の業務の模範となるもの
2. 設計計画等に新技術を導入し、今後の設計計画技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、とりまとめ、出来ばえも良好なもの

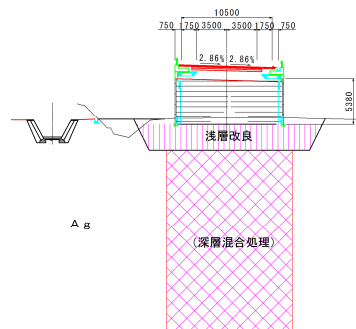
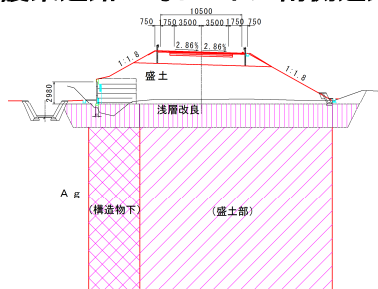
業 務 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成26年度北部国道調査設計業務	(株)ホープ設計	北 部 国 道	P12
● 平成26年度那覇北道路橋梁予備設計(その3)業務	大日本コンサルタント(株)	南 部 国 道	P13
● 平成25年度南部国道管理・交通対策関係工事監督支援業務	(株)アークスタッフ	南 部 国 道	P14
● 平成26年度 国営沖縄記念公園施設点検他業務	(株)長大 沖縄支店	記 念 公 園	P15
● 石垣港航跡波影響検討業務	(株)エコー 沖縄事務所	石 垣 港 湾	P16

優良業務

件名 平成 26 年度 北部国道調査設計業務

会社名 (株)ホープ設計

●名護東道路 3 号トンネル南側道路土工

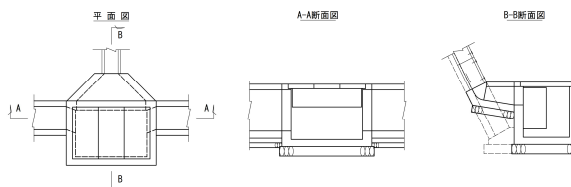
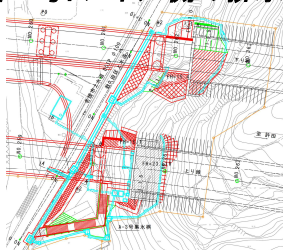


Type1：盛土断面による軟弱地盤対策（当初）

Type2：補強土壁による軟弱地盤対策

当初計画の type1：土工による対策案に対し、新技術を取り入れた代替案を提案し、検討した結果 type2：補強土壁による軟弱地盤対策が工費で約 5 割程度のコスト縮減効果が図られた。

●名護東道路 4 号トンネル側の排水設計



減水効果のある合流樹の検討

業務説明

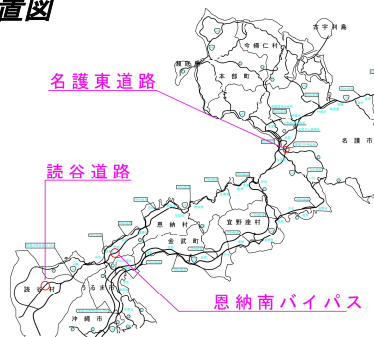
本業務は、北部国道事務所内の改築事業に係わる測量、地質調査、道路詳細設計（構造物）等を行ったものである。

業務を進めるにあたっては、事業スケジュールや工事進捗に影響がでないよう迅速かつ的確に実施することが求められた。また、関係機関との調整を円滑に進める必要があった。

名護東道路 3 号トンネル南側盛土計画は、基準書の改訂に伴い、軟弱地盤対策（地震時の液化化）が必要となり、当初計画を見直し、コスト縮減、排水路線形の改良、施工性の向上まで含めた効果のある工法を決定した。また、名護東道路 4 号トンネル坑口法面排水は、急斜面での計画であるため、減水効果がある合流樹の検討を行い、流入時に生じる跳水、ガリ侵食防止対策を計画した。

その他、調査職員の方々と入念な協議と現地合同踏査を実施し、施工中の設計変更も含めた情報共有を図り、課題点や問題点を抽出し、代替案及び施工ステップを踏まえた計画の提案、詳細設計を実施することができた。

位置図



●合同現場踏査による発注者と情報共有

業務概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 工事場所／北部国道管内
- 工事内容／測量 一式
地質調査 一式
軟弱地盤技術解析 一式
一般道路構造物設計 一式
- 工期／H26. 4. 5～H27. 3. 31
- 契約金額／¥48, 384, 000

優良業務

件名：平成26年度那覇北道路橋梁予備設計（その3）業務

会社名：大日本コンサルタント株式会社



業務説明

本業務は、那覇北道路（那覇市港町地内）において、若狭IC接続部のAランプ橋（ONランプ）とDランプ橋（OFFランプ）に関する橋梁予備設計を実施するものである。

本業務の技術的特徴は以下の通りである。

- ランプ線形の見直しを行い、ノーズ位置を揃えることで経済性、構造的性、景観性（部分模型による検証）の向上を実現した。
- 橋梁計画は、現在供用中の道路や既設護岸構造物に対し、近接施工の影響を考慮した計画を行った。併せて、設計統一事項（案）を作成し、路線全体の整合性に配慮した計画を行った。
- 地域の実情を踏まえ、積み上げによる設計統一単価（案）を作成し、概算工事費の精度向上と路線全体の整合性に配慮した設計を行った。
- 今後の詳細設計に向けた有効なツールとして、路線全体のVRを作成し、景観上の課題点及び解決策の方向性を明らかにした。また、応用的な機能（走行シミュレーション、日照状況の確認、フォトモンタージュ機能）を追加し、景観検討に使用するだけでなく、地元及び関係機関との協議等、様々な機会に利用できるような配慮を行った。

また、照査技術者による照査報告や担当者以外の第三者による設計検証（デザインレビュー）を複数回実施することで成果品の品質向上を図った。

弊社は上述した全ての技術検討を行うと共に、その結果を設計計画に漏れなく反映させ、詳細設計に向けた成果を滞りなくとりまとめた。

部分模型



位置図



工事概要

- ◆事務所名：南部国道事務所
- ◆業務場所：沖縄県那覇市若狭地内
- ◆業務内容：橋梁予備設計 一式
コスト縮減設計留意書作成 一式
設計協議 一式
- ◆工期：H26.8.1～H27.3.31
- ◆契約金額：¥23,450,000

優良業務

件名 平成25年度南部国道管理・交通対策関係工事監督支援業務

会社名 (株)アークスタッフ



現場安全点検実施

社内週間業務
打合せの実施



月1回の社内研修会の実施

業務説明

本業務は、南部国道事務所の与那原維持出張所管内における維持管理及び交通安全対策事業に関する工事实施の監督補助を行い、監督職員を支援し、当該発注工事の安全で円滑な履行及び品質確保を図ることを目的とする業務である。

業務実施に当たり、管理技術者を専任で配置し、リーダーシップの強化を図り、担当技術者への的確な指導・監督を行うことにより着実、確実な業務履行に努めました。

毎週社内業務打合せを行い、週間業務実施計画書を作成し、立会・打合せ計画や指示事項・懸案事項一覧表を取りまとめ、工事毎に問題解決の提案を含め、監督職員が的確に工事施工状況把握が行えるよう、毎週業務打合せを行いました。

担当技術者の技術力の向上を図る上で月1回の社内研修会を実施し、沖縄総合事務局及び南部国道事務所からの通達事項や事務連絡等及び専門技術の勉強会を実施しました。また、工事の安全施工の把握と安全意識の向上を図り、管理技術者と担当技術者による安全チェックシートを活用した安全点検を実施しました。

積極的な情報共有を行うため、発注者や施工業者とのコミュニケーションを密に図り、工事の課題や懸案事項を常に整理し、その対応策の提案を行い監督職員の下、工事の安全で円滑な履行と品質確保を支援しました。

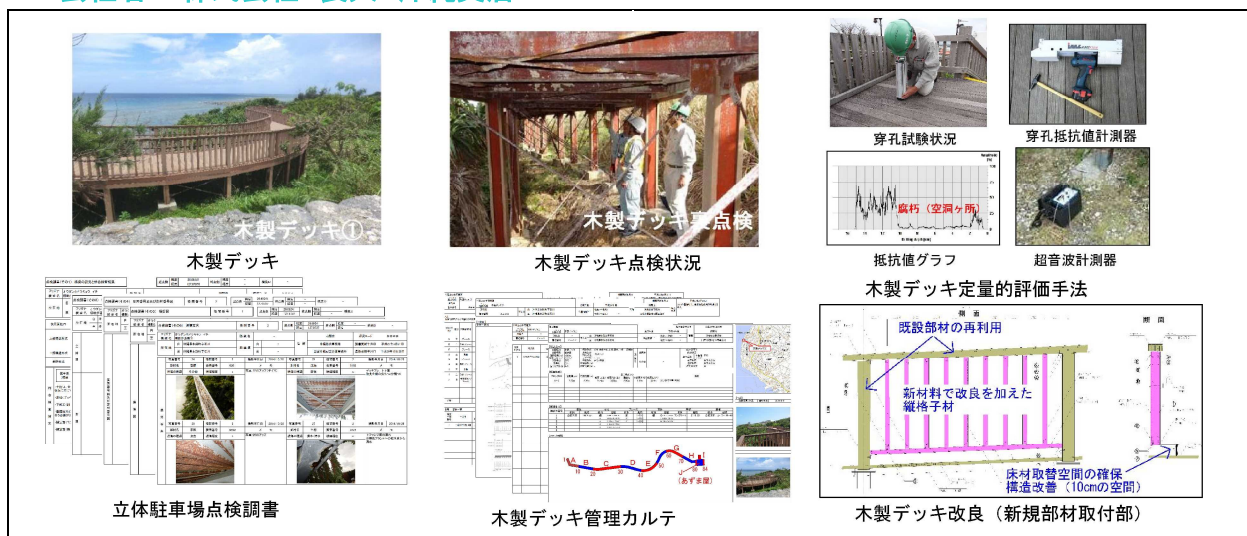
位置図



業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／与那原維持出張所管内
- 業務内容／定例打合せ 一式
- 工事管理 一式
- 工事監督支援 一式
- 異常気象時補助 一式
- 工期／H25.4.1～H27.3.31
- 契約金額／¥84,907,200

件名:平成26年度 国営沖縄記念公園施設点検他業務
会社名:株式会社 長大 沖縄支店



業務説明

本業務は、国営沖縄記念公園内（海洋博覧会地区、首里城地区）における「横断歩道橋」「道路橋」「木製デッキ」の公園施設定期点検を実施し、著しい劣化・損傷が確認された施設に対して補修検討並びに補修実施設計を行ったものである。また、追加業務として「道路橋上部工詳細設計」「北立体駐車場・エメラルドゲート立体駐車場定期点検」「植物管理センター・海洋文化館・道路橋のコンクリート劣化調査」「空洞探査」「擁壁点検及び補修設計」を実施した。

1) 点検調書の工夫と管理カルテの作成

木製デッキと立体駐車場施設は、本業務が初回点検であるが、点検結果の取り纏め要領は無い
ため、部材の劣化・損傷調査に加え、今後の定期的な保守活動（点検・補修）に対して汎用性を考慮した点検調書と管理カルテを作成した。

2) 木橋点検士と学識者を加えた調査体制

生材使用の木製デッキ点検は、高度な技術力と経験を有する木橋点検士と学識者による調査チームを編成し点検調査品質の向上を図った。

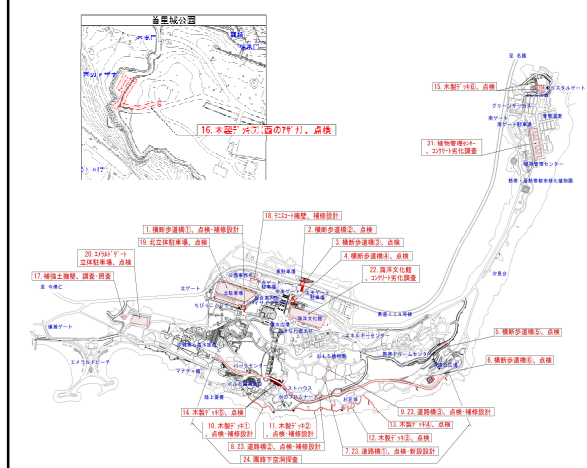
3) 定量的な調査手法の提案と実施

生材使用の木製デッキの腐朽度は、目視・打診・触診による定性的な評価に加え、**穿孔抵抗値計測器（レジストグラフ）と超音波計測器を用いた定量的な腐朽度調査を提案・実施**した。本業務での初期値は、今後の定期点検に対する**腐朽度の進展を確認する指標**となる。

4) 改良と改善による既設デッキの再利用

木製デッキ補修設計では、既設デッキに改良・改善を加えて再利用しコスト縮減を図った。

位置図



業務概要

- 事務所名／国営沖縄記念公園事務所
- 業務場所／沖縄記念公園内
(海洋博覧会地区, 首里城公園地区)
- 業務内容／下表のとおり

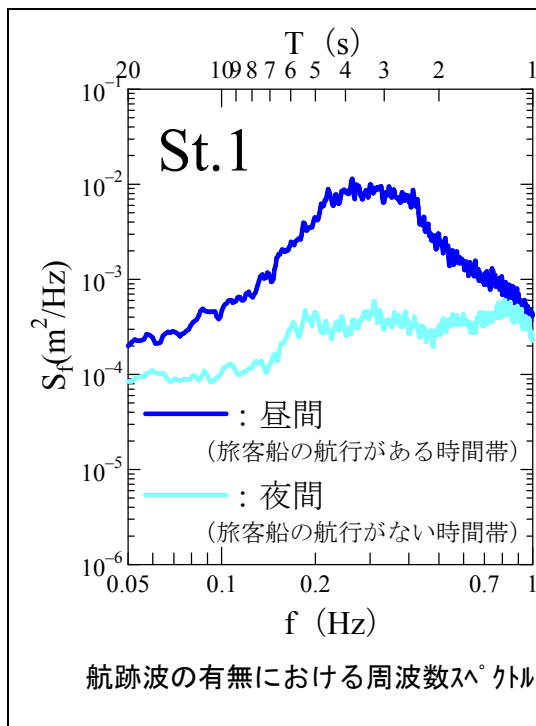
工 種	種 別	単位	数量
点検箇所の確認	下記の橋梁定期点検施設	式	1
橋梁定期点検	横断歩道橋①～⑥	箇所	6
	道路橋①～③（園路）	箇所	3
	木製デッキ①～⑥	箇所	6
	木製デッキ⑦	箇所	1
橋梁補修計画の検討	横断歩道橋①、道路橋②③	箇所	5
橋梁補修実施設計	木製デッキ①②	箇所	5
擁壁点検	エマルト [®] ゲート立体駐車場横	箇所	1
擁壁補修実施設計	公園事務所横 [®] スコト擁壁	箇所	1
立体駐車場点検	北・エマルト [®] ゲート立体駐車場	棟	2
コンクリート劣化調査	道路橋①～③	箇所	6
	植物管理センター・海洋文化館	箇所	1 6
上部工設計	道路橋①	橋	1
空洞探索	園内道路路面下	Km	1.2

- 工期／H26. 7.11 ～ H27.3.31
- 契約金額／¥31,752,000(税込)

優良業務

件名 石垣港航跡波影響検討業務

会社名 (株)エコー



輻輳する旅客船から発生される航跡波
(平成 26 年 10 月 19 日撮影)

対象地点	従来の検討手法		今回の検討手法	
	通常波		通常波+航跡波	
	荷役稼働率(%)	判定	荷役稼働率(%)	判定
① 浜崎町地区 (~9.0) 岸壁 A	100.00	OK	61.62	NG
③ 浜崎町地区 (~7.5) 官公庁	99.97	OK	72.13	NG
④ ~12.0m 岸壁 (新港形)	98.88	OK	87.82	NG
⑤ ~9.0m 岸壁 (新港形)	99.63	OK	99.20	OK

航跡波の影響を加味した荷役稼働率

業務説明

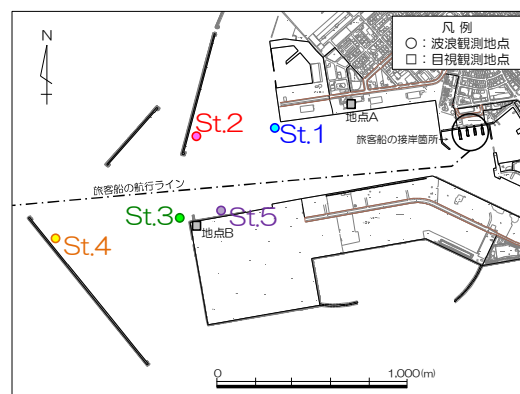
本業務は、旅客船から発生する航跡波を捉えるための現地調査を実施し、航跡波の実態を定量的に把握するとともに、航跡波の影響を加味した静穏度解析を行ったものである。

調査研究事例の少ない航跡波は、その調査・解析手法の選定が最も重要であり、実施にあたっては高い技術力と創意工夫が必要であった。

航跡波を捉える現地調査は、航跡波の波浪特性に応じた波浪観測日や観測地点に加え、波浪観測や目視観測の観測項目等に留意して現地調査を実施したことにより、航跡波の実態を把握できる現地データを取得した。そして、その現地データを用いて航跡波の発生特性や目視観測結果を活用した旅客船毎の波形の分析等を行うことで、航跡波の波高や波向等の実態を定量的に把握した。このようにして把握した航跡波には、概ね従前の通常波の成分が含まれておらず、航跡波成分だけを捉えていた。その結果、航跡波による港内静穏度への影響は、通常波に対する港内静穏度解析の結果に、航跡波の波高を加えることで、定量的な評価が可能となった。

これらの成果は、高い技術力と創意工夫に基づいた合理的な解析手法を適用しており、客観的に評価できる優良な成果であった。

位置図



業務概要

- 事務所名／石垣港湾事務所
- 調査箇所／石垣港港内
- 業務内容／波浪観測 一式
- ビデオ監視撮影 一式
- 静穏度解析 一式
- 課題の抽出整理 一式
- 工期／H26.8.23～H27.2.27
- 契約金額／¥12,420,000

優秀工事技術者一覧

優秀工事技術者の選考基準

1. 工事施工における困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新しい施工技術の導入等の創意工夫
3. 土木工事現場の環境改善によるイメージアップ等への貢献度

工 事 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成24年度港川高架橋下部工(下りP10)工事	(株)大本組 川田建設・銭高組特定 建設工事共同企業体	松 本 竜 哉	南 部 国 道	P18
● 平成25年度与根高架橋上部工(下りP15～P18)工事		森 脇 健 次	南 部 国 道	P18
● 中城湾港(新港地区)岸壁(－10.0m)改良工事	(株)國場組 あおみ建設・座波建設 特定工事共同企業体	嘉 数 和 彦	那覇港湾・空港	P19
● 中城湾港土砂処分場え護岸外1件築造工事		金 田 裕 治	那覇港湾・空港	P19

優秀工事技術者



監理技術者
松本 竜哉

- 工 事 名:平成24年度港川高架橋下部工(下りP10)工事
- 事務所名:南部国道事務所
- 工 期:平成25年2月5日～平成26年8月29日
- 会社名／代表者名:株式会社 大本組／鍋島 委己

この度、荣誉ある優秀工事技術者表彰を頂きましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局 南部国道事務所の皆様をはじめ、工事にかかわった多くの関係各位のご指導・ご協力があったの事と深く感謝申し上げます。

本工事は沖縄西海岸道路の一部となる港川高架橋の下部工 P10 橋脚をニューマチックケーソン工法で築造しました。本施工位置は、地耐力が不足する砂層と中硬岩相当の石灰岩が互層で出現する特殊な地盤条件であり、また冬季は波浪の影響を直接受けるため、袋詰め玉石を使用した築島工法と全旋回式掘削機による置換工法により、ケーソン沈設に支障をきたさない施工を実現しました。さらに、地元生活道路の一部を工事用道路として使用するため、関連工区と通行車両台数の調整を行い、自治会広報紙に工事情報を提供して近隣住民の理解を頂き、沿道環境に配慮した施工を行いました。ケーソン掘削機の点検・解体時の高圧室内作業では、酸素減圧と自動減圧を併用し減圧症対策管理に努めた結果、無事故・無災害で工事を終えることが出来ました。

今回の受賞を励みに、より一層の努力を重ねて技術力・品質の向上に努め、安全で快適な職場環境を作り、社会資本の整備に寄与したいと思います。



監理技術者
森脇 健次

- 工 事 名:平成25年度与根高架橋上部工(下り P15～P18)工事
- 事務所名:南部国道事務所
- 工 期:平成25年7月11日～平成27年3月31日
- 会社名／代表者名:川田建設(株)沖縄営業所／渡久地 政胤

この度、荣誉ある優秀工事技術者表彰を承りましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局開発建設部、南部国道事務所ならびに那覇空港自動車道出張所の監督職員をはじめ、工事に携わった関係者皆様のご指導とご協力があったの事と心より感謝を申し上げます。

本工事は、国道331号（豊見城道路）のうち、与根高架橋の下り線 P15～P18 区間において、PC3 径間連続箱桁橋を片持架設工法で行う工事でした。与根漁港航路を跨いで海上部施工、供用中の上り線と近接しての施工であり、飛来落下等による第三者災害防止に努めました。工事用ルートには地元与根集落や豊見城市役所豊崎公園事業（体育館建築工事）等があり、地域とのコミュニケーションや周辺環境への配慮に留意して施工に当たりました。おかげさまで、無事故・無災害で完工することができました。また、建設業の将来の担い手育成の一助として実施した現場見学会では、地元高校生や小学生に建設業の楽しさや大切さを伝えることができました。

今回の受賞を励みに、さらなる技術力の向上を目指し、安全・安心で高品質の施工を提供できるように努めて参りたいと思います。

優秀工事技術者



監理技術者
嘉数 和彦

- 工 事 名: 中城湾港(新港地区)岸壁(-10.0m)改良工事
- 事務所名: 那覇港湾・空港整備事務所
- 工 期: 平成 26 年 6 月 10 日～平成 27 年 1 月 22 日
- 会社名／代表者名: 株式会社 國場組／國場幸一

この度、荣誉ある優秀工事技術者表彰を受賞できました事は、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所並びに中城湾港出張所、監督職員のご指導と工事に携わった方々のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。本工事は、供用中の新港地区-10.0m 岸壁（西ふ頭）の舗装版、防舷材、車止めの新設及び岸壁補修を行う工事で荷役業者及び施設利用者の運用を維持する上で重要な工事でありました。本施工区域は、供用中の岸壁を一部閉鎖し施工する事から施設管理者及び施設利用者と事前に打合せを何度も行い、定期的にリーフレットの配布説明を行うことで荷役作業及び定期航路便に支障をきたさず施工することができました。

また、指定部分の引渡しや竣工時の引渡し時期を厳守するため、工程の管理・舗設機械の確保をするために協力業者と密に打合せを行い工期内に無事、無事故・無災害で工事を完了することが出来ました。

今回の受賞を励みに、より一層の技術力・品質の向上に努め、安全で快適な作業環境を作り、努めていきたいと思ひます。



監理技術者
金 田 裕 治

- 工 事 名: 中城港湾土砂処分場え護岸外1件築造工事
- 事務所名: 那覇港湾・空港整備事務所 中城港湾出張所
- 工 期: 平成 26 年 3 月 29 日～平成 27 年 3 月 31 日
- 会社名／代表者名: あおみ建設・座波建設 JV

あおみ建設(株) 沖縄支店 支店長 長谷川秀 一

この度、荣誉ある優秀工事技術者表彰を受賞させて頂きましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに、那覇港湾・空港整備事務所 中城港湾出張所の皆様を始め、工事に関わった全ての関係各位のご指導、ご協力があったの事と深く感謝申し上げます。

本工事は中城港湾土砂処分場内のえ護岸及び、う護岸において、構造物撤去工、海上地盤改良工、基礎工、本体工（ブロック式）、裏込・裏埋工及び共通工を施工して護岸を築造するものであります。本施工海域の北側海域は、海藻が自生（絶滅危惧種の藻類のクビレミドロの生息地）しており、南側海域はモズクの漁場となっていることから、施工に当たっては周辺環境に配慮しつつ、隣接工区等と輻輳する作業環境の中で安全且つ効率的に作業を行うことが重要と考え、監督職員や協力業者等と協議を重ねて工事を進めて参りました。その結果、周辺住民からの苦情も無く、無事故で工事を竣工できたことは、大変うれしい限りであります。最後になりますが、これからは、今回の受賞を励みとし、技術者としてより一層の努力を重ね品質及び技術力の向上に励み、環境にも配慮した安全で快適な職場づくりに邁進していく所存でございます。

優秀業務技術者一覧

優秀業務技術者の選考基準

1. 業務履行上の困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新技術の導入等の創意工夫

業務件名	業者名	技術者名	事務所等名	項
● 平成26年度南部国道交通対策事業促進等検討業務	(株)長大 沖縄支店	石原 智 司	南 部 国 道	P21
● 平成26年度南部国道管内電気通信施設外設計業務	日本工営(株) 沖縄事務所	齋 藤 正 義	南 部 国 道	P21
● 中城湾港環境監視調査業務(その2)	(株)イーエーシー	木 村 英 彰	那覇港湾・空港	P22

優秀業務技術者



担当技術者
石原 智司

- 業務名:平成26年度南部国道交通対策事業促進等検討業務
- 事務所名:南部国道事務所
- 工期:平成26年4月17日～平成27年3月31日
- 会社名／代表者名:株式会社 長大 沖縄支店／小原 顕太

この度は荣誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、誠に光荣なことであります。これもひとえに、南部国道事務所及び交通対策課の職員並びに関係者のご指導とご支援を頂いたおかげであり、深く感謝申し上げます。

本業務は、交通対策12事業の事業展開を円滑かつ迅速に進めていくために、既往成果と現地状況の整合等を整理し、事業進捗に影響する懸案事項の抽出及び対応策の検討を行うものです。

業務実施に際して、懸案事項の見える化、関連各課と連携した対応策の実施、関係機関との速やかな調整が重要となりました。まず、進捗管理方法として、定例的な所内懸案調整会議[PLAN]を起点とし、事業執行[DO]⇒ヒアリングによる進捗管理[CHECK]⇒資料更新[ACTION]を実践しました。また、事業スケジュール管理表、懸案リスト及び詳細な工程表等を作成し、誰が、いつまでに、何をするかを明確にしました。弊社においても、関係機関協議(占用企業・関連自治体など)を単独または主導的役割のもとで全54回実施し、懸案事項の対応策の調整に貢献できたと考えています。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術力向上と創意工夫に努めて参りたいと考えております。今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



管理技術者
齊 藤 正義

- 業務名:平成26年度南部国道管内電気通信施設外設計業務
- 事務所名:南部国道事務所
- 工期:平成26年6月24日～平成27年3月25日
- 会社名／代表者名:日本工営株式会社 沖縄事務所／米城才文

この度、荣誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、建設コンサルタント業に携わる技術者として誠に光荣であります。業務遂行にあたり多大な御指導、御支援を頂いた南部国道事務所および各出張所の方々、ならびに関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

本業務は、南部国道管内における電気設備、通信設備、情報システム設備等、多種多様な設備の詳細設計を実施するとともに、管内ネットワークシステムの再構築等の基本検討を行ったものです。

現状の管内ネットワークシステムは、各事業の進捗に合わせ構築が進められていたことから、非常に複雑かつ広域的な構成で障害発生時の対応に大きな課題があるが、障害時の影響検討やコスト面を整理し、シンプルで信頼性・拡張性のある光ネットワークの構成を提案できました。

業務対象箇所は広範囲で、かつ同年度工事実施中の内容も設計対象であり、時間的制約もあった中、設備仕様に関する技術的な精通度に加え、沖縄県の地震津波被害想定等も加味した検討を行い、工事工程への影響が最小限となるよう迅速に対応し、円滑な工事の進捗に貢献できました。

今回の受賞を励みに、一層の自己研鑽、技術力向上と創意工夫に努め、沖縄県の社会インフラ整備に尽力したいと考えております。今後とも御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

優秀業務技術者



主任技術者
木村英彰

- 業務名: 中城湾港環境監視調査業務(その2)
- 事務所名: 那覇港湾・空港整備事務所
- 工期: 平成26年4月12日～平成27年3月31日
- 会社名／代表者名: 株式会社イーエーシー／大石哲也

この度、優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、環境コンサルタント業務に携わる技術者として、誠に名誉なことであります。これも、那覇港湾・空港整備事務所中城湾港出張所の職員の皆様、ならびに関係者の皆様からのご支援、ご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

本業務では、中城湾港埋立工事に伴う埋立地周辺海域及び陸域の環境監視を目的として、鳥類、オカヤドカリ類、干潟生物の現地調査を実施し、重要な種などの特記事項の抽出、過年度データとの比較、工事の及ぼす影響について解析・考察を行い、今後の課題、提案事項等を取りまとめました。

本業務においては、造成中の人工島で貴重鳥類であるコアジサシの日本における最大規模の繁殖活動が確認されており、事業による営巣地への攪乱が懸念されましたが、注意喚起のパンフレットの作成や営巣地踏み荒らし防止を目的としたコアジサシ営巣地確認調査により、影響の低減を図ることが出来ました。また、様々な要因を踏まえた減少原因の推定や毎月の速報及び解析・考察の報告により、工事のスムーズな実施と環境保全の両立を実現することが出来ました。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術向上と創意工夫に努め、地域の発展、自然環境の保全に尽力したいと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。